

令和5年度 環境経営レポート



自 令和5年7月1日 ～ 至 令和6年6月30日



価値ある次代を拓く

藤野建設株式会社

Fujino Construction Co., Ltd.

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

令和6年8月8日 発行

藤野建設株式会社 SDGs 宣言



SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと169のターゲットから構成されています。

【取組みの項目】



- 安全で高品質なインフラ整備
信頼される技術力と地域の安心安全な取組み
i-Construction導入 優良工事認定業者
- 労働環境の整備
働きやすい職場環境づくりと人材育成
ワークライフバランス認定事業所 資格取得支援
- 環境保全
環境経営を行う事で、地域社会への環境づくりと資源循環型社会の構築に貢献
エコアクション21認定事業所 環境配慮工事の推進 地域清掃
- 地域貢献 社会貢献
地域の役に立ち、持続可能な社会の実現へ貢献
職場体験インターンシップ受入れ 従業員の地域活動への参加推奨

藤野建設株式会社 環境経営しポート表紙

目次

	1. 環境経営方針・・・	1
	2. 事業活動の概要・・・	2
	3. 実施体制・・・	3
	4. 環境経営目標・・・	4
	5. 環境経営計画・・・	5
	6. 環境経営目標の実績・・・	6
	7. 環境経営計画結果・次年度の取組内容・・・	7
	8. 産業廃棄物処理実績・・・	20
	9. 環境関連法規・・・	21
	10. 代表者による評価と見直し・・・	22
	環境活動トピック・・・	23



1. 環境経営方針



環境理念



藤野建設株式会社は、事業活動による環境への影響を自覚し、環境営業を行うことにより、地域社会のより良い環境づくりと資源循環型社会に構築に貢献します。



環境方針



当社は、環境経営システムを構築し、運用する事により、継続的な環境負荷の軽減に努めます。

また、低炭素社会実現等、環境保全への建設業としての課題を明確にし、建設業だからこそ実施出来る地域社会への貢献を意識していきます。

上記を踏まえた上で、当社の事業活動において、環境に影響を及ぼす項目に対し、以下の内容を重点課題として取り組みます。

1. 環境配慮工事の推進
2. 環境関連法令の遵守
3. グリーン購入適合品(リサイクル製品)の購入推進
4. 二酸化炭素排出量（燃料及び電力等）の削減
5. 工事現場での環境保全への創意工夫・地域貢献の実施
6. 3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)による廃棄物排出量の削減

環境方針は全社員へ周知徹底させ、環境活動に関しての教育を行い、環境保全の意識を向上させます。また、上記の環境活動を毎年7月から翌年6月までを1年とした環境レポートとしてまとめ、情報の開示に努めます。



2011年3月1日 制定
2022年6月30日 改定 (Ver.6)

藤野建設株式会社
代表取締役 藤野 慶一



2. 事業活動の概要

2-1. 事業所及び代表者名

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一

2-2. 所在地及び連絡先

【本社】 〒431-1115

静岡県浜松市西区和地町6320番地

(TEL) 053-486-0239

(FAX) 053-486-3574

(E-mail) info@fujinokensetsu.co.jp



2-3. 事務局

大草 かおり(総務部) 名倉 美明(土木部)

2-4. 許可内容

- ・特定建設業 静岡県知事許可(特-2)第001247号
(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、浚渫工事業、水道工事業、解体工事業)
- ・産業廃棄物収集運搬 県知事許可(第02202026944号)
有効期限 静岡県 令和8年2月9日
(収集運搬は自社排出のみ)

2-5. 設立

昭和35年3月1日

2-6. 事業規模・事業活動

資本金	3,000万円
売上高	822百万円(R5年度)
従業員	36名
延床面積	776.78㎡

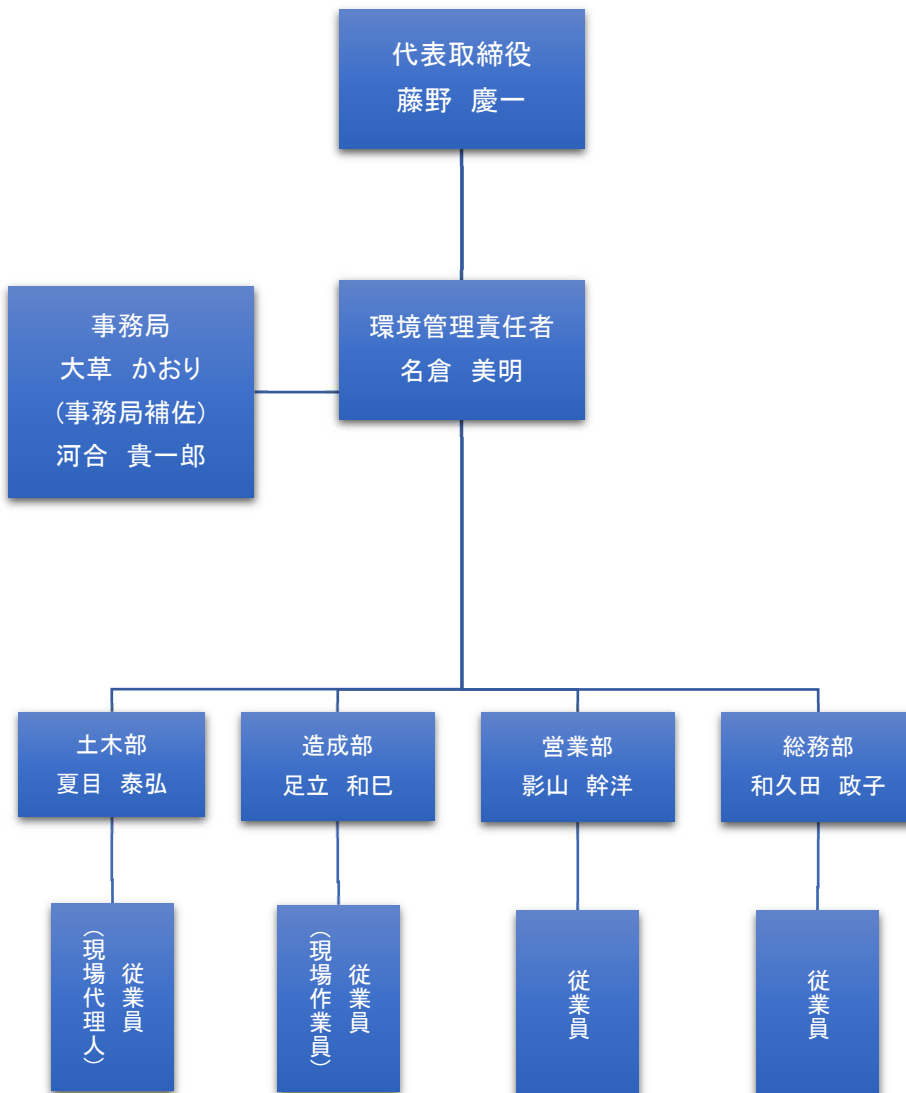
- ・総合建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、浚渫工事業、水道工事業)
- ・土質改良土プラント(山土、山砂、山砂利、山碎石、改良土の販売)
- ・建設発生土の受け入れ

2-7. 対象範囲

対象範囲は、本社及び土質改良プラントで、全組織・全活動・全従業員を対象としています。



3. 実施体制



役割・責任・権限

(代表者)

- ・ 環境経営方針の設定、見直し
- ・ 環境管理責任者の任命
- ・ 資源(人員・設備・費用)の提供
- ・ 取組状況の評価及び見直し

(環境管理責任者)

- ・ 環境経営目標の設定
- ・ 取組状況の確認
- ・ 代表者への報告

(事務局・補佐)

- ・ 環境経営実施計画書作成
- ・ 環境経営レポート作成
- ・ 環境関連法規等の取りまとめ
- ・ 教育の実施
- ・ 文書及び記録の維持管理

(各部責任者)

- ・ 各部における環境経営システムの実施
- ・ 環境経営システムの達成状況の報告

(全従業員)

- ・ 個人における環境経営システムの実施



4. 環境経営目標



環境経営目標

環境目標項目		単位	場所	R1&R2年度 平均値 (基準年度)	R4年度	R5年度	R6年度
工事現場の環境配慮		---	現場	環境に配慮した施工及び施工機械を採用する			
グリーン購入		---	事務所	グリーンマーク商品の物品を積極的に採用する			
CO2排出量 削減	電気 使用量	kWh	事務所	35,261	34,908	34,908	34,908
					-1%	-1%	-1%
			現場 (プラント)	2,316	2,292	2,292	2,292
					-1%	-1%	-1%
			現場施設	節電に努める			
	ガソリン 使用量	L/売上	事務所	37.02	36.64	36.64	36.64
			現場	---	---	---	---
	軽油 使用量	L/売上	事務所	---	---	---	---
			現場	343.35	339.91	339.91	339.91
	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	事務所	127,147	125,875	157,966	156,386.00
			現場	1,128,037	1,116,756	1,330,396	1,317,092
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	事務所	減量に努める			
	産業廃棄物 リサイクル	%	現場	99.0	99.0% 以上	99.0% 以上	99.0% 以上
地域貢献 ボランティア	地域清掃	回/年	---	1回	1回	1回	1回
水資源節約		---	事務所	節水に努める			

※ 売上とは、今年度の売上を指し、環境換算指数＝ガソリン・軽油の各使用量/今年度売上高(百万円単位)とする。

※ R1年度より購入電力CO2排出係数について以下の値を用いる。

事務所:0.395 (株)ハルエネ(登録番号:A0311) 現場:0.480 ENEOS(株)(登録番号:A0050)



5. 環境経営計画

対象	環境目標項目	取組み期間													備考	対象 部署	責任者	
	取組み項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月					
工事現場の 環境配慮	工事現場の環境への配慮																	
	環境配慮型重機の使用	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	環境へ配慮した備品の整備、使用	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
グリーン 購入	グリーンマーク適合品の採用																	
	事務用品適合品の購入推進	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
CO ₂ 排出量削減	①電気使用量の削減の取組み																	
	未使用時・休憩時の消灯	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	未使用時、機器の電源を切る	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	節電機能のある機器の積極的活用	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	空調温度の管理を行う	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	室温設定(夏場26℃、冬場23℃)	◌	◌	◌				◌	◌	◌					▶	通年	全従業員	大草・名倉
	②ガソリン・軽油使用量の削減																	
	工事用重機の整備点検を行う	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	毎朝作業前に自主点検を行う	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	工事用重機の省エネ運転の実施	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	過積載・過負荷による作業の防止	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	エコドライブの徹底	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)
	社用車の定期整備点検	○				○			○				○			3ヶ月毎	社用車所有者	大草
	③その他																	
	照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	◀													▶	適宜	総務部門	大草
	エコ家電の導入	◀													▶	適宜	総務部門	大草
廃棄物削減 排出量	一般廃棄物・産業廃棄物削減																	
	ゴミの分別回収の実施	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	再生可能資源のリサイクル	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	紙資源排出量の削減	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
ボランティア 地域貢献 活動	ボランティア活動																	
	河川敷の清掃活動	◀													▶	適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)
	建設業協会主催の清掃活動への参加		○													年1回	現場部門	名倉
	本社行事としての清掃活動													○		年1回	全従業員	リーダー指名制
	各工事現場の清掃活動の実施	◀													▶	適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)
水資源 節約	節水																	
	節水シール・呼びかけ	◀													▶	通年	全従業員	大草・名倉
	道路散水用の水の自然水利用	◀													▶	通年	現場部門	名倉 (各部責任者)

※凡例

◀→ : 年間を通して「常に実施・意識」するもの
 ◀→ : 年間を通して「必要に応じて実施・検討」するもの

○ : 特に意識して実施する月
 ○ : 定期的に実施する月



6. 環境経営目標の実績



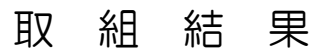
実績・評価

今年度CO2排出係数
(株)ハルエネ(登録番号:A0311)=0.376
ENEOS(株) (登録番号:A0050)=0.437

環境目標項目		単位	場所	R1&R2年度 (平均) 基準年度	R5年度		目標値比	評価	備考
					目標値	実績値			
工事現場の環境配慮		-	現場	意識して実施する	実施出来た		100%	○	
グリーン購入		-	事務所	積極的に採用する	実施出来た		100%	○	
CO2排出量削減	電気使用量	kWh	事務所	35,261	34,908	33,718	96%	○	○ 100%以下 △ 101%~110%未満 × 111%以上
			現場	2,316	2,292	1,852	80%	○	
			現場施設	節電に努める	配慮出来た		100%	○	
	ガソリン使用量	L/売上	事務所	37.02	36.64	47.21	128%	×	
			現場	-	-	-	-	-	
	軽油使用量	L/売上	事務所	-	-	-	-	-	
			現場	343.35	339.91	286.80	84%	○	
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	事務所	127,147	125,875	102,697	81%	○	
			現場	1,128,037	1,116,756	613,389	54%	○	
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	事務所	減量に努める	配慮出来た		100%	○	
	産業廃棄物リサイクル	%	現場	99.0	99.0	99.8	100%	○	○ 100%以上 × 100%未満
地域貢献ボランティア	地域清掃	件/回	-	1.0	1.0	2.0	200%	○	○ 1回以上 × 0回
水資源の節約		-	事務所	節水に努める	配慮出来た		100%	○	



ICTを活用した工事の実施



取組の評価

取組結果

- ・ 環境配慮型重機の使用
- ・ 環境へ配慮した備品の整備、使用
- ・ 環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施

○
○
○

現場単位で創意工夫の一環としての環境保全を積極的に実施しています。特に以下に挙げた実施例は非常に画期的な取り組みだったと思います。

現場としては、工事評価点の向上の為の創意工夫・地域貢献活動ですが、当社の環境経営目標に最もマッチした取組みなので、来年度以降も更なる取組み実施と、新しい環境配慮製品の使用を進めて行きたいと考えます。



廃棄予定だった側溝蓋の再利用



グリーン購入



取組結果

目標	実績	評価
積極的に採用	実施出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 事務用品適合品の購入推進

取組結果

○

取組評価

グリーン購入物品として、事務用品だけでなく、安全用品も積極的に取り組んでいます。指定物品以外でも看板の張替購入頻度を減らせるブロー看板の導入や、仮設材料を再生材を用いる等の取り組みも行えています。

来年度取組目標

グリーン購入特定品目以外でも、環境配慮に即した物品の購入を進めていけたらと思います。特に工事に関する保安用品などは、近年かなり環境対策用品が登場しているので、積極的に採用して行けたらと思います。



ブロー看板(パネルだけ差替え可能)



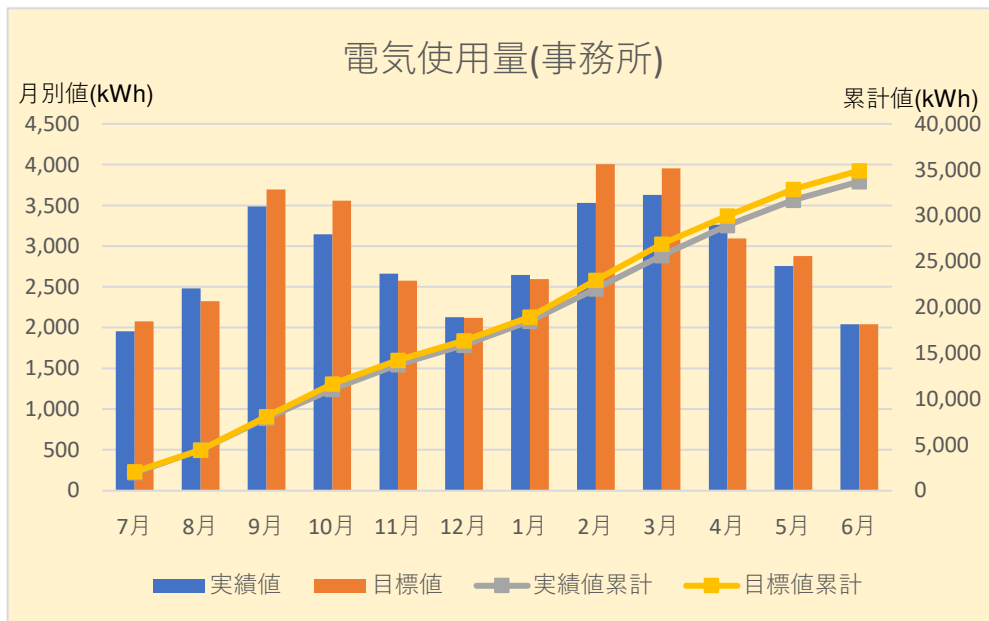
県産材間伐材の購入
(バリケード&看板枠)



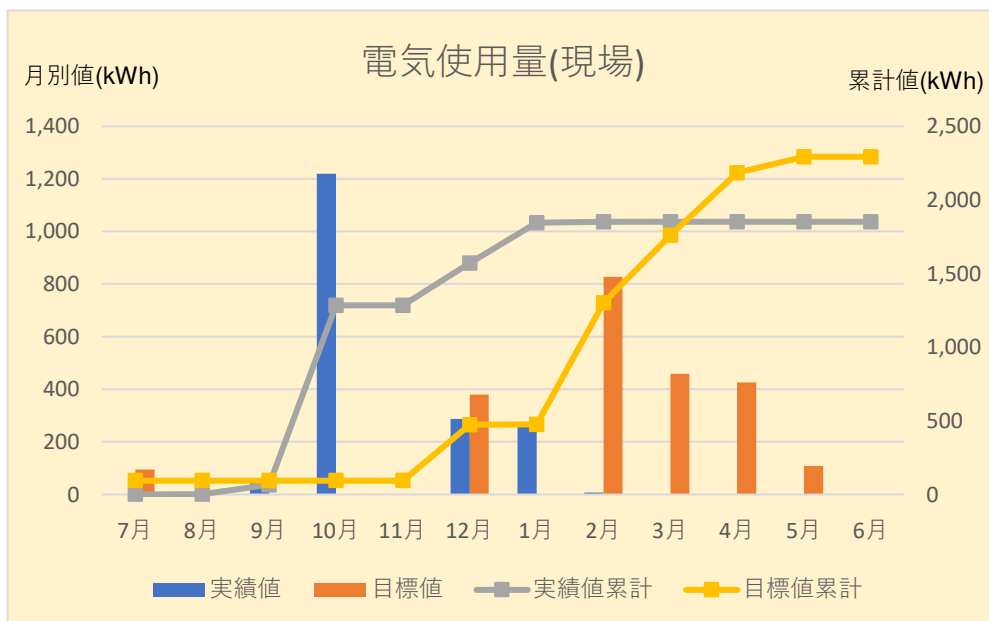
電気使用量の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
34,908	33,718	○



目標値	実績値	評価
2,292	1,852	○



取組の評価

取組内容	取組結果
・ 未使用時・休憩時の消灯	○
・ 本社内のスイッチにステッカーを掲示	○
・ 未使用時、機器の電源を切る	○
・ 節電機能のある機器を積極的に活用する	○
・ 空調温度の管理を行う	○
・ 室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する	○

○ よくできた △ ある程度できたが更に取り組みが必要 × できなかった(検討が必要)

取組評価

事務所電気の節電に関しては、機器の更新等は一定の基準に達しました。したがって、節電以外の対策を取ることを現場と連携し提案しました。その中の1つとして夏場の暑さ対策でヘルメットのひさしなどの物品を職員に配布し、空調で熱中症対策をとる以外の方法を提言出来ました。

現場電気使用量については、自社プラントの稼働状況によるものですが、需要がある中で稼働した結果なので、使用量増は致し方無いと思いますが、引き続き漏電点検は行っています。

来年度取組目標

来年度は、パソコンの更新を実施します。節電効果に期待するだけでなく、作業性が向上し、余計な待機時間や残業時間の減少による減電にも期待できます。また節電だけの固定概念ではなく、暑さ対策として、広い視野で考えていきたいです。

現場電気の使用量の検討ですが、定期的な点検業務を引き続き実施し、過負荷での作業や、漏電・放電の防止に努めていきます。



ステッカーの表示



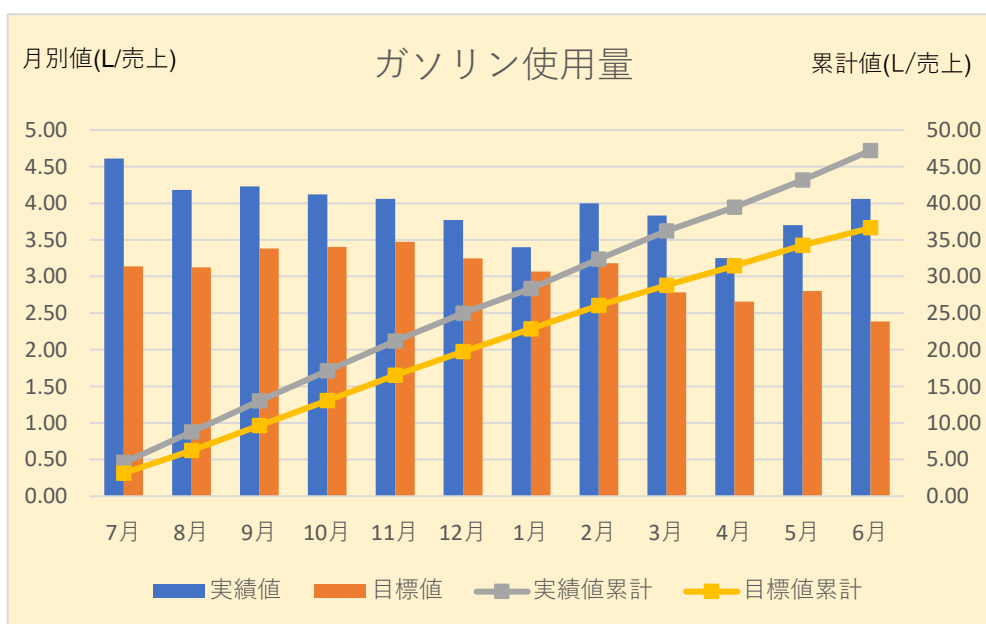
空調の空気循環



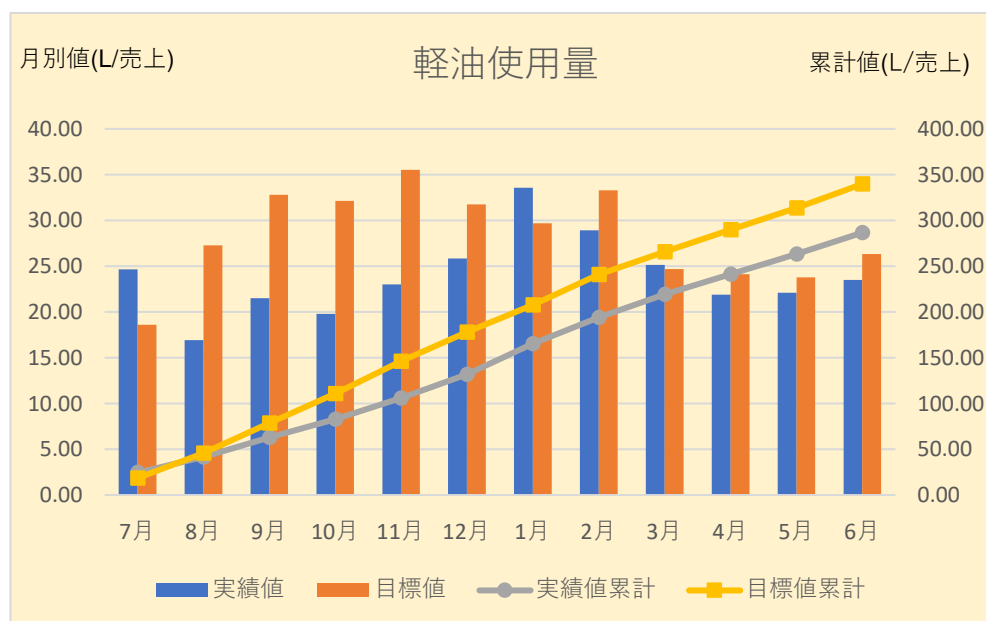
ガソリン・軽油使用量の削減



取 組 結 果



目標値	実績値	評価
36.64	47.21	×



目標値	実績値	評価
339.91	286.80	○



取組の評価

取組内容

- ・ 工事用重機の整備点検を行う
- ・ 毎朝作業前に自主点検を行う
- ・ 工事用重機の省エネ運転の実施
- ・ 過積載・過負荷による作業の防止
- ・ エコドライブの徹底
- ・ 社用車の定期整備点検

取組結果

○
○
○
○
△
○

取組評価

ガソリンの実質使用量は、減少していますが、売上高が低下したため目標値を逸れる形となりました。定期点検での不備やはありませんが、現場を持たない技術職員が多かったため、資材を積載した状態での走行や休憩時の冷暖房を使用したアイドリングなどが見受けられました。とはいえ、業務の特性上、仕方がないことと考えます。

来年度取組目標

ガソリン使用量については、重機稼働時の軽油使用量のように、稼働(売上)状況と使用量が比例するわけではないので、仕方がない部分はありますが、エコドライブの再広報等の対策を行っていかれたらと思います。軽油の使用量については、引き続き、ICT施工の積極導入、小規模工事での導入も含め推進していかれたらと思います。



ICT施工



舗装工事にもICT施工導入



一般廃棄物・産業廃棄物の削減



取 組 結 果

廃棄物（一般廃棄物）

目標	実績	評価
減量に努める	実施出来た	○

廃棄物（産業廃棄物）

品名	排出量(t)	リサイクル量(t)	
コンクリート殻	370.36	370.36	100.0%
アスコン殻	583.88	583.88	100.0%
木 材	0.00	0.00	100.0%
混合廃棄物	14.17	12.34	87.1%
建設汚泥	49.10	49.10	100.0%
合 計	1,017.51	1,015.68	99.8%

※混合廃棄物=0.26t/m³

目標値	実績値	評価
99.0%	99.8%	○



取組の評価

取組内容

- ・ ゴミの分別回収の実施
- ・ 再生可能資源のリサイクル
- ・ 紙資源排出量の削減

取組結果

○
○
○

取組評価

雑紙の有効利用として、再生紙トイレトペーパーの作成(購入)と配布を始めた元年です。後でトピックスとして挙げていますが、小学校・幼稚園へ古紙再生トイレトペーパーの配布を行いました。回収の期間は限定的ですが、多くの古紙を回収できたので、廃棄物削減に効果的だったと思います。

また地元の小学校・幼稚園への配布ということもあり、意外な所で従業員がお礼を言われた等の報告がありました。

来年度取組目標

古紙回収は来年度も継続して実施してきます。

現場の廃棄物の処理に関しては、工事現場の環境配慮でも事例として挙げたように、廃材でも無駄にしない工夫・提案できる視野をもって行けたらと思います。またこのような事例を共有することで拡散していけたらと考えます。



雑紙回収ボックス設置と回収量



地域貢献・ボランティア



取組結果

目標値	実績値	評価
1回	2回	○



取組の評価

取組内容

- ・ 河川敷の清掃活動
- ・ 建設業協会主催の清掃活動への参加
- ・ 本社行事としての清掃活動
- ・ 各工事現場の清掃活動の実施

取組結果

○
○
○
○

取組評価

地域貢献ボランティアにおいては、今年度も8月に行われた建設業協会主催のボランティア活動に参加してきました。毎年行われているので、欠かさず参加を心掛けて取り組んでいきたいと思ひます。また、今年度も会社行事として、花川の除草作業を行いました。来年も6月初旬に実施予定です。

来年度取組目標

協会奉仕作業と本社奉仕作業を基本軸に、現場単位での地域貢献活動を実施していきたいです。また、一般廃棄物減量と重複しますが、紙資源からのトイレトペーパー作成及びその地域への配布活動も毎年の恒例活動として実施し、地域へ貢献していきます。



花川清掃活動



水資源節約



取組結果

目標	実績	評価
節水に努める	配慮出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 節水シール貼付、節水呼びかけ
- ・ 道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)

取組結果

○
○

取組評価

井戸水を使用している為、明確な使用量の把握は出来ませんが、会社全体として、給湯室への節水シールの貼り付けや掲示等で十分な呼びかけは来ています。
また、道路散水用の水は、本社井戸水又は、普通河川より取水(河川法適用外)し、利用できています。

来年度取組目標

屋内作業では節水が徹底されているので、来年度は屋外作業(洗車や給水)での蛇口の締め忘れや、漏水の防止に努めていきたいと考えます。また漏水の目視調査等も定期的にも実施していきます。



ステッカーの掲示



環境経営計画取組評価と来年度の取組み

対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
工事現場の環境配慮	工事現場の環境への配慮			
	環境配慮型重機の使用	○	環境配慮型重機の100%使用が達成でき、環境に配慮された施工ができた。	来年度も環境配慮型重機の使用100%を目指して取り組んでいきたい。
	環境へ配慮した備品の整備、使用	○	環境配慮製品の使用はできていた。	社内で環境配慮製品の購入を案内・検討していく。
	環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施	○	現場単位で、実施が出来ている。現場特性によって多種の実施事例がある。	次年度も、各現場で実施していく。
グリーン購入	グリーンマーク適合品の採用			
	事務用品適合品の購入推進	○	事務用品だけでなく、安全備品等に関してもグリーンマーク及び環境配慮商品を購入している。また施工提案も実施している。	今後も、リサイクル材の活用やグリーンマーク対象商品を選定したうえで購入していく。
CO ₂ 排出量削減	①電気使用量の削減の取組み			
	未使用時・休憩時の消灯	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。また随時整備していく。
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	○	ステッカーを用意し、常時社員が見える位置に設置した。	引き続き行うように心がける。また随時整備していく。
	未使用時、機器の電源を切る	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。
	節電機能のある機器を積極的に活用する	—	今年度は実績なし。	来年度変更予定なし
	空調温度の管理を行う	○	不在時は電源を切って外出が出来ている。	健康管理、事業の推移により、再考する必要がある。特に猛暑日は健康管理を優先する。
	室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する	○	換気を行う事で、冷房効率低下→急冷の悪循環があった。	夏場は26℃～25℃の中で極力頑張る。その分、エアコンの稼働時期等を考慮する。
	②ガソリン・軽油使用量の削減			
	工事用重機の整備点検を行う	○	重機の整備点検は使用前に必ず確認・記録をし、安全な施工をした。	怪我がないように毎回整備点検を行っていくようにしていく。
	毎朝作業前に自主点検を行う	○	自主点検を行い、安全に努めて活動ができていた。	事故防止のために今後も引き続き行うようにする。
	工事用重機の省エネ運転の実施	○	経済的な運転が実行されている。	引き続き省エネ運転の心掛けて、低燃費機械の選定等を心掛けていく。
	過積載・過負荷による作業の防止	○	過積載防止に日頃から努める事が出来ている。	引き続き行うように心がける。
	エコドライブの徹底	△	軽自動車に荷物満載状態が見受けられる。	エコドライブの再広報を心掛ける。
	社用車の定期整備点検	○	定期点検は確実に実施されている。	定期点検以外でも、異音や不調等があれば、早い対処を心掛ける。
	③その他			
	照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	—	今年度は実績なし。	来年度変更予定なし
	エコ家電の導入	—	今年度は実績なし。	来年度、パソコンを買換える予定。

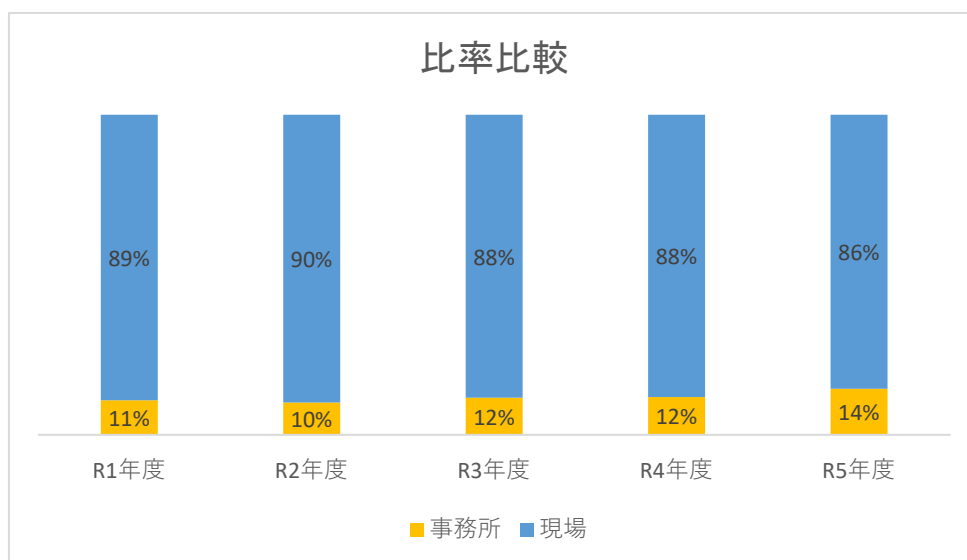
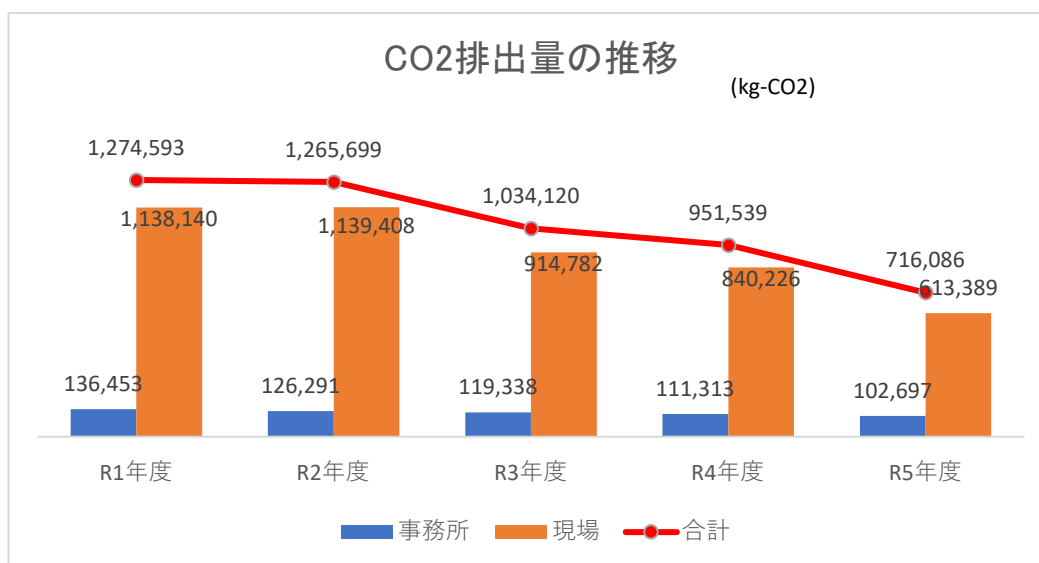
対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
廃棄物排出量削減	一般廃棄物・産業廃棄物削減			
	ゴミの分別回収の実施	○	混廃排出量削減の意識は、かなり浸透していると思う。	混廃ボックスへの投棄ルールを明確にする。処理施設からの案内の周知徹底を図る。
	再生可能資源のリサイクル	○	ゴミの減量に繋がると思うが、効果検証と更なる徹底を図る。	環境保全のため来年度も継続して取り組んでいくようにする。
	紙資源排出量の削減 (裏紙使用・ペーパーレス化)	○	古紙回収を実施5～6月で回収、9月にトイレトペーパーを地域に配布。	資源回収の成果がモノとして残る活動なので、毎年実施していく。廃棄物量削減の主軸で考えたい。
ボランティア活動 地域貢献	ボランティア活動			
	河川敷の清掃活動	○	定期的に清掃活動を行う事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	建設業協会主催の清掃活動への参加	○	8月に実施。参加する事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	本社行事としての地域清掃活動	○	除草・ゴミ拾い等の清掃活動の実施を行えた。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	各工事現場の清掃活動の実施	○	各工事現場ごとに清掃活動を行い地域貢献・ボランティアに努めることができた。	継続して工事現場、その周辺を常に綺麗に保ち、施工を行う。
節約 水資源	節水			
	節水シール・呼びかけ	○	給湯室に節水シールを貼ることで節水を呼びかけることができた。	引き続き節水シールを貼っていき呼びかけていく。
	道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)	○	実施出来ている。	引き続き実施していく。



CO2排出量の推移

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事務所	136,453	126,291	119,338	111,313	102,697
現場	1,138,140	1,139,408	914,782	840,226	613,389
合計	1,274,593	1,265,699	1,034,120	951,539	716,086

(単位: kg-CO2)



過去5年間のCO2排出量を比較しました。CO2排出量は、年々減少傾向にあります。排出量は、売上高の増減に関わらず、事業活動全体による排出量です。したがって年々、環境を考慮した事業を行っている証拠となると考えます。引き続き、CO2排出量の減量に努めていきます。

また、減量のポイントとして、現場活動での排出量が全体の90%を占め、且つ軽油使用量が最も大きなウェイトを占めています。したがって、軽油使用量の減量(高効率な作業等)がCO2排出量削減のキーポイントという事を頭に入れ、事業活動を行っていきます。



長期ビジョン

2015年に採択されたパリ協定、それに伴い閣議決定された日本のCO2削減目標(2013年度比-46%減)を実現するために、当社としても長期的目標を設定し取り組んでいきます。

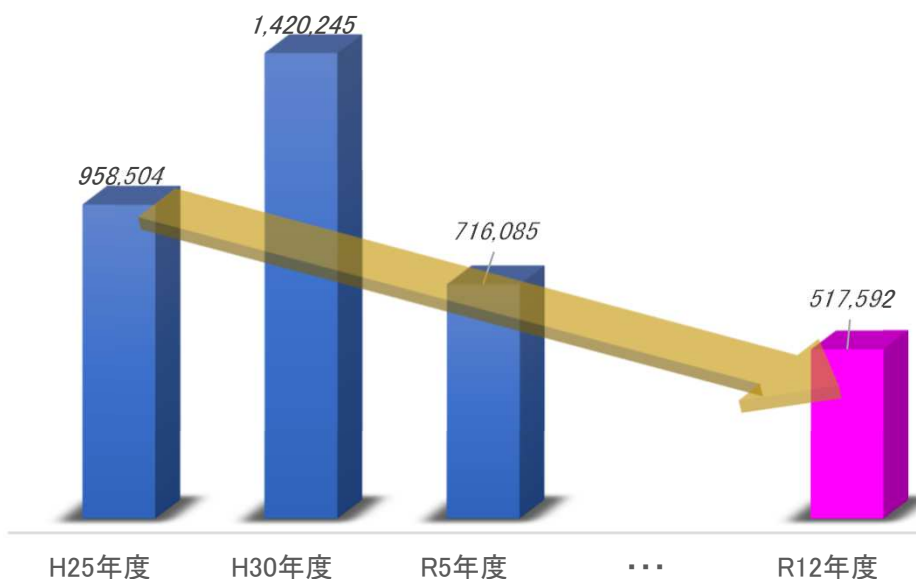
また当社の長期目標は、政府・建設業界(国交省、建設業協会)の方針に基づき、定期的に変更していきます。

CO2排出量の推移実績

	2013年		現在		2030年
	H25年度	H30年度	R5年度	...	R12年度
CO2排出量 (削減量)	958,504 100%	1,420,245 148%	716,085 25%		517,592 46%

(単位: kg-CO2)

CO2排出量の推移実績





8. 産業廃棄物処理実績



産業廃棄物収集運搬状況

※自社排出、自社収集運搬分のみ

表.1 産業廃棄物収集運搬内訳

廃棄物の種類	台数	数量(t)
コンクリート殻	6	40.60
アスコン殻	31	50.90
伐採木材	0	0.00
建設混廃	1	0.13
建設汚泥	0	0.00
廃プラスチック	0	0.00
合計	38	91.63

表.2 搬出先内訳

搬出先(最終処分場)	台数
天竜川砂利プラント(協)	26
西部合材リサイクルセンター(協)	10
西遠アスコン共同企業体	1
(株)リサイクルクリーン	1
合計	38

■ コンクリート殻 ■ アスコン殻 ■ 建設混廃

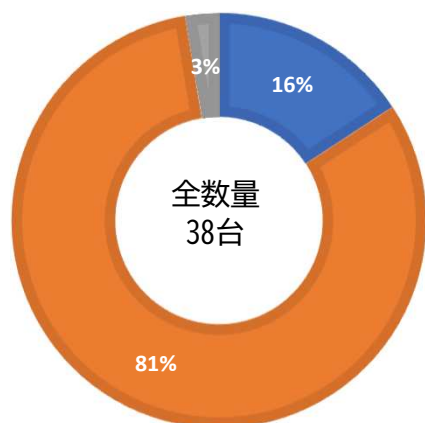


図.1 産業廃棄物収集運搬内訳

■ 天竜川砂利プラント(協) ■ 西部合材リサイクルセンター
■ 西遠アスコン共同企業体 ■ (株)リサイクルクリーン

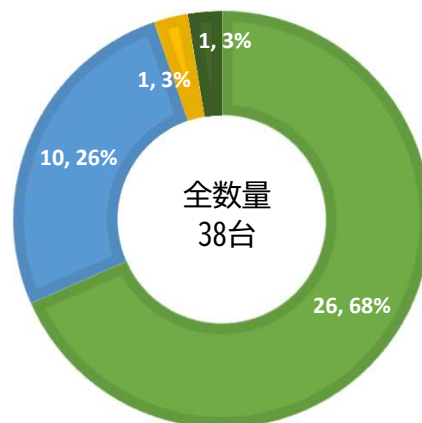


図.2 搬出先内訳

産業廃棄物の収集運搬については、ほとんどが現場で発生したコンクリート殻及びアスコン殻です。自社を排出事業者として収集運搬し、所定の搬出先まで適切に運搬されています。搬出先の処分業者は全て産業廃棄物処分業許可を取得している業者と確認出来ています(全66件中66件)。また、自社搬出分は全て公共工事において発生する産業廃棄物であり、厳しい管理のもと処分までの確認を行っています。

産業廃棄物収集運搬の管理については、全て電子マニフェスト(JW-NET)を利用し管理しています。



9. 環境関連法規



1. 環境関連法規等の遵守状況

令和6年6月30日

環境関連法規等の名称	概要	適用・該当項目の詳細	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な処理	収集運搬・処分業者の許可確認及び契約の締結(契約書の5年間保存)	○
		マニフェストの交付・保存(電子マニフェスト)	○
		マニフェストの交付状況の報告	○
		許可内容の更新・運搬車両への提示	○
		多量排出事業者の責務(計画書・報告書)	○
	現場保管	保管場所の掲示板設置	○
	特別管理産業廃棄物	法令に基づいた処分	該当なし
リサイクル法	指定副産物の適正な処理	指定副産物の発生抑制、再生利用の努力	○
		再生資源利用計画書・実施書、再生資源利用促進計画書・実施書の作成	○
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	○
		発注者への書面による計画等説明及び完了報告	○
		分別解体等	○
		再資源化等の促進、再生資源の使用	○
		付着物、残存物、有害物質の調査	該当なし
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業における振動規制基準の遵守など	作業開始の7日前までに届出	該当なし
		規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
		振動特定施設(土砂用は鉱物用機械)	届出済
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設業における振動規制基準の遵守など	作業開始7日前まで届出	該当なし
		規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
		騒音特定施設(土砂用は鉱物用機械)	届出済
浜松市産業廃棄物の適切な処理に関する条例	産業廃棄物処理の現地調査	実地確認	○
労働安全衛生法 石綿障害予防規則	工作物の解体 石綿等を取り扱う業務	事前調査、作業計画、管理、測定、健康診断 各項目の届出と保管	該当なし
オフロード法	CO2排出量の抑制	現場で使用されている建設機械の適合基準の表示	○
家電リサイクル法	特定家庭用家電の排出処分	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	該当なし
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器の排出処分	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	該当なし
自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処分	リサイクル料金の支払い又は指定回収業者への廃車の引渡し	該当なし
グリーン購入法	グリーン製品の購入	コピー用紙等事務用品のグリーン購入の推進	○
浄化槽法	水質汚濁の防止	浄化槽の設置届出	○
		浄化槽の定期的な保守点検及び清掃、水質の定期検査	○
消防法	危険物の貯蔵・取扱	危険物取扱者の標識と掲示板の提示	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品のエアコン 建機用エアコン	簡易点検記録	○



2. 違反・罰則・提訴の有無

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例について、違反はありませんでした。
また、関係当局から指導・指摘、近隣・利害関係者からの提訴もありませんでした。

令和6年7月1日

(確認者) 事務局: 大草 かおり、名倉 美明



10. 代表者による評価と見直し

令和6年8月8日

報告	作成
名倉	大草

1. 見直し関連情報

項目	確認:(必要に応じてコメント)
1 エコアクション21文書	☒ 記録文書として作成しました。
2 環境目標及び目標達成状況	☒ 目標達成が確認出来ました。
3 環境活動計画及び取組み実施状況	☒ 計画通り実施されています。
4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 記録に記載しました。遵守されています。
5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 記録されています。問題ありません。
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 適宜記録保管されています。
7 その他()	☐

2. 代表者による全体評価、見直し指示

今年度は、会社全体の売り上げが厳しく、再利用・再使用の重要性を痛感しているところです。また無駄遣いを極力減らすよう通達してきました。その中で、当社の根幹である重機軽油使用量(売上当り)については、工事の大小、売上の増減に関係なく毎年優秀な数字を挙げており、評価できることです。

エコアクション21の取組については、前任者が雑紙の有効活用を提案し、推進してくれ、非常に有意義な活動を行う起点となってくれました。今年度が近隣施設への寄贈1年目だったこともあり、大変感謝されました。来年度以降も引き続き良い慣例として行っていって貰いたいと思います。

また、活動レポートに、新たに長期ビジョンとして2030年へ向けた目標を提示してくれました。建設業界としては、すぐに排ガスをゼロにすることは難しい課題ですが、2013年度比46%減を目標に取り組むとともに、その先のカーボンニュートラル実現に向けて準備していきたいと考えます。

令和6年8月8日

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一

見直し項目	改正の 必要性	内 容
1 環境経営方針	有 ☒ 無	変更なし
2 環境経営目標	☒ 有 無	目標値の再設定
3 環境経営計画	☒ 有 無	目標達成に向けて必要に応じて
4 実施体制	有 ☒ 無	変更なし
5 その他のシステム要素	有 ☒ 無	変更なし
6 その他(外部への対応)	有 ☒ 無	変更なし

環境活動トピック



① 新入社員研修

今年度の新入社員にエコアクション21についてのガイダンスを行いました。「環境経営」というと難しいですが、日頃の【無駄にしない】意識が、結果的に会社の為になるんだと、身近な事で説明しました。

② 古紙リサイクルトイレットペーパー配布



古紙で作ったトイレットペーパーを近隣の小学校と幼稚園へ寄贈させて頂きました。寄贈式の写真です。

建設業者を通して、将来を担う子供たちは資源の大切さや物を無駄にしない大事さを理解してくれたいと思います。

また「建設業は環境に悪い」イメージを払拭できるようになればと思います。

来年度も引き続き実施していきます。



③ 奉仕作業



今年も当社西側を流れる花川の奉仕作業を実施しました。2年目なので、作業効率がとてもイイです。

今回は近隣の高校生も学校行事として参加しました…写真はありませんが…。

奉仕作業の輪がますます広がっていけばいいなと思います。

